



いずし そうじ 出石 創二 教頭先生

平野小学校では「人権を大切にし、互いに助け合い、最後まで頑張る子の育成」をめざしていま

子どもたちの見た「カプセル」

大阪市立平野小学校 出石 創二 教頭

世話になっていきます。そんななか、にこにこセンターの方から「救急カプセル」の取り組みのお話をいただき、本校児童にとつて有意義な取り組みであると考え、協力させていただくこととなりました。

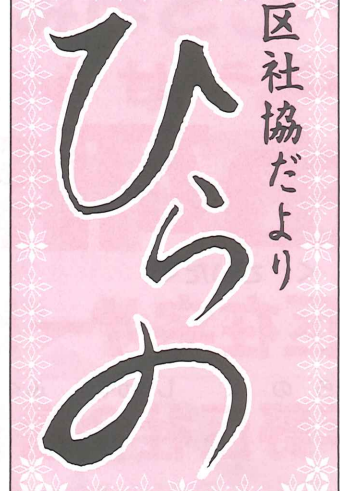


昨年8月、厚生労働省は、認知症高齢者が全国で300万人を越えているとの推計を発表しました。

未来に向かって 変化する時代

今、日本は世界のどこの国も経験したことがないスピードで超高齢社会を迎えています。平野区では、65歳以上の高齢者が4万8千人を超え、総人口の約24%、つまり約4人に1人が高齢者となりました(平成23年9月末)。

地域で暮らしてつづけるために



区社協だより

社会福祉 大阪府平野区社会福祉協議会 〒547-0043 大阪府平野区平野東2丁目1番30号 平野区在宅サービスセンター(にこにこセンター) ☎ 06-6795-2525 FAX 06-6795-2929 http://hirano.kusyakyou.or.jp/

活動資金へのご協力ありがとうございました

5月・6月の「赤十字社員増強運動」では、多くの皆様から多額の活動資金をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

「このままでいいの?」と自分たちのこととして考え、地域で暮らし続けるための工夫や知恵を出し合っています。その一つとして、関係団体との連携により認知症のことや見えにくいわかりづらい障がい等を理解する研修や学習会を地域や学校で開催しています。

心細い生活をしている人が多くいる現実があります。そこで、各地域での取り組みをサポートするため、ボランティア「救急カプセル広め隊!」の隊員を募集しています(2ページ関連記事)。

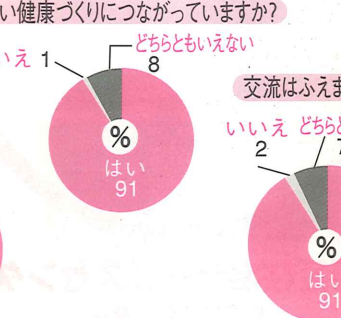
動き出した地活協 平野区内の20地域で設立

これまで各団体に別々に出されていた補助金は、地活協で一括補助され、地域で話し合い、地域の実情に沿って有効に活用することができ、地域自治をはかるための取り組みがはじまっています。

今年度の食事サービスマン利用者の性別は女性が88%と高く、年齢では60歳代が12%、70歳代が53%、80歳代が34%、そして90歳代は1%でした。

「超高齢社会」・WHO(世界保健機構)の分類で、人口のうち65歳以上の割合が21%を超えた社会。

ふれあい型高齢者食事サービス利用者アンケートの結果 平成25年1月に、大阪府平野区高年齢者食事サービス事業による利用者アンケートが実施されました。



「あなたにかい気持ち」を育むキッズサポーター養成講座も積極的に開催しています。

認知症サポーター養成講座 認知症サポーターとは 認知症を正しく理解して、認知症の人やその家族をあたかく見守る応援者になって自分のできる範囲で支えていく人のことです。

定例開催 内容は全て同じ 第1回 平成25年 9月19日(木) 第2回 平成25年 11月21日(木) 第3回 平成26年 1月16日(木)

「救急カプセル」の隊員を募集しています(2ページ関連記事)。



開催時間 全回とも午後1時30分~3時30分 場所 平野区在宅サービスセンター(にこにこセンター) TEL 06-6795-2525

平野区老人福祉センター

開館時間 (月～土曜日) 午前9時～午後5時30分
利用時間 午前10時～午後5時
休館日 日曜日、及び国民の祝日・休日
 年未年始(12月29日～1月3日)
利用料 無料(講座・イベントによっては実費を徴収することもあります)

老人福祉センターは、地域の高齢者を対象に「健康の増進」「仲間作り」「生きがいづくり」「レクリエーション活動」等の総合的なサービスを提供するとともに生活についての各種相談に応じ、社会参加を支援する身近な施設です。

お父さんお母さんはもちろん、おじいちゃんやおばあちゃんと見学も大歓迎です。

〒547-0004 大阪市平野区加美鞍作1-2-26
 TEL 06-6793-0880 FAX 06-6793-0868



ひらのく ろうじん ぶくし
平野区老人福祉センター



囲碁や将棋
ダンス...
のサークルがあるよ。

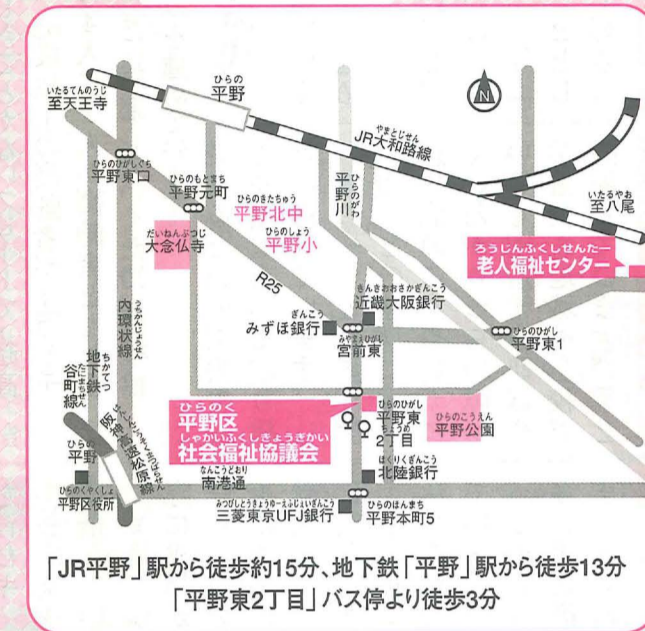
夏休みはどこへ行く?

なつやすみ じゅうけんきゅうへん

夏休み自由研究編☆

ひらのく ざいたく
平野区在宅サービスセンター(にこにこセンター)

ひらのく しゃかい ぶくし きょうぎかい
平野区社会福祉協議会



「JR平野」駅から徒歩約15分、地下鉄「平野」駅から徒歩13分
 「平野東2丁目」バス停より徒歩3分

平野区子ども・子育てプラザ

開館時間 (火～土曜日) 午前9時～午後9時
 (日曜日) 午前9時～午後5時
休館日 月曜日・祝日・年未年始
 月曜日が祝日の場合はその翌日が休館

「プレイハウス」があるよ。

- 「プレイハウス」ってなあに?
 子どもが安心して遊べる遊び場・居場所です。
- 誰が利用できるの?
 小学生・中学生・高校生が利用できます。
- 何ができますか?
 卓球教室があるよ。工作やおやつを作ったり、季節の行事もあるよ。
 ゲームやコミック本もたくさんあるよ。
- いつ利用できるの?
 火曜日から日曜日の午前10時から12時、
 午後は1時から5時までです。
 (日曜日は4時30分までです)

遊びたい子は保護者の方といっしょに見学に来てください。

「プレイハウス」の利用には登録が必要です。「利用申込書」に必要事項を記入のうえお申込みください。「利用申込書」は必ず保護者の方が記入してください。

〒547-0024 大阪市平野区瓜破3-3-64
 TEL・FAX 06-6707-0900



ひらのく こ
平野区子ども・子育てプラザ



窓口は2階です



平野区 子ども・子育てプラザ
 ファミリーサポートセンター
平野

福祉を知ろう!!
スタンプラリー
期間 8.1 ▶ 8.31
(木) (土)

小さなお子様から高齢者まで、どなたでもスタンプを集めながら、平野区内の社会福祉協議会の3つの施設見学ができます。ご自宅近くの施設からでもよし!夏休み中のイベントにあわせての参加もOK!ご自由にどこからスタートしていただいてもOKです。
 開館時間、休館日をご確認の上、お越しください。お待ちしております。

スタンプ

スタンプ

スタンプ

平野区老人福祉センター 平野区子ども・子育てプラザ 平野区在宅サービスセンター(にこにこセンター)

平野区社会福祉協議会 平野区在宅サービスセンター (にこにこセンター)

開館時間 (月～金曜日) 午前9時～午後7時
 (土曜日) 午前9時～午後5時30分
休館日 日曜日、及び国民の祝日・休日
 年未年始(12月29日～1月3日)

住みなれた地域で、家族や友だちと一緒に豊かな生活を送りたいという願いは誰もが持っています。そんな願いを実現するために、話し合う、協働する場が社会福祉協議会です。在宅サービスセンターは建物の名前で、区社会福祉協議会(社協)が運営しています。ひとつの建物の中で、地域福祉に関する様々な事業を行なっています。

- 主な事業**
- 高齢者の総合相談窓口 地域包括支援センター 4F
 - 金銭管理などのお手伝い あんしんさぼーと 4F
 - 高齢者の通所介護(予防) デイサービスセンター 2F
 - ボランティアに関する窓口 ボランティアビューロー 1F
 - その他、地域福祉に関する事業 1F・4F

〒547-0043 大阪市平野区平野東2-1-30
 平野区在宅サービスセンター
 「にこにこセンター」内
 TEL 06-6795-2525 FAX 06-6795-2929

ボランティアビューロー

夏休み企画
 「自分たちで安全なまちづくり」
 あなたの命守ります!

「救急カプセル広め隊!」
隊員募集

～親子で、おじいちゃん おばあちゃんとボランティア活動を体験しよう!～

★夏休みの救急カプセル広め隊 活動日
 8月9日、23日(金) 午前10～12時

場所:平野区在宅サービスセンター 3階ボランティアルーム
 持物:500mlのペットボトル・はさみ
 対象:小学校3年生以上の児童とその保護者
 地域を見守る隊員に是非ご参加ください!!
 お待ちしています (20名先着順)

申込問合せ先:平野区社会福祉協議会 地域活動担当
 TEL06-6795-2525 FAX06-6795-2929

あんしんさぼーと

平野区社会福祉協議会には「あんしんさぼーと」というサービスがあります。生活していく上で必要なことはいろいろありますが、あんしんさぼーとがお手伝いするのは「お金の管理」です。

あんさぼ夏休み子ども向け特別講座
 8月21日(水) 午前10時30分～11時30分
 場所:平野区在宅サービスセンター 3階ボランティアルーム

「あんさぼ」って何?
 「お金の管理」って何?どうやってするの?
 そんな疑問について、わかりやすく説明します。

申込問合せ先:平野区あんしんさぼーと(にこにこセンター内)
 TEL06-6795-2727 FAX06-6795-1660



昨年度のポスター

家族介護支援事業（楽しく笑ってリフレッシュ）は、大阪市より平野区地域包括支援センターが委託を受けた

家族介護支援事業

楽しく笑ってリフレッシュ

家族介護支援事業（楽しく笑ってリフレッシュ）は、大阪市より平野区地域包括支援センターが委託を受けた

事業です。この事業は、高齢者を自宅で介護しているご家族や地域の方々に対し、介護に関する情報交換や意見交換の場、適切な介護知識や技術、認知症の理解を深める機会を提供し、介護者の負担軽減や心身のリフレッシュを図り、住み慣れた地

域で継続して生活できるようにしています。今、ストレスを解消する一つの方法として「笑い」が注目されています。笑いは人間特有の行動であり、高次脳機能により維持されているそうです。また、近年では、高齢者にお



笑いヨガの様子

ける余暇活動が認知症を予防すると報告されており、余暇活動の重要性も謳われています。一般的に自宅で介護し

ている家族は、自分の余暇活動の時間が持てず、慢性的にストレスを抱えることが多く、過度のストレスは高齢者虐待などに至る場合もあります。その点から、自宅で介護をしているご家族や地域の方々に対し、ストレスを解消する方法として、昨年度、平野区民ホールにて大平哲也先生（大阪大学院准教授・日本笑い学会理事）をお招きし「笑い」について講義いただきました。「笑う」ことの大切さを学んで、自宅でもリフレッシュできるような「笑いヨガ」についても体験していただきました。

会場は笑いの絶えない楽しい講演会になり、当日実施したアンケートの結果、「人生に希望がもてた」「久しぶ

金婚夫婦・95歳以上の高齢者の方へ祝品・表彰状をお贈りします

次に該当する方は8月10日（土）までに本人またはご家族の方が、各地区社会福祉協議会会長を通じてお申込みください。

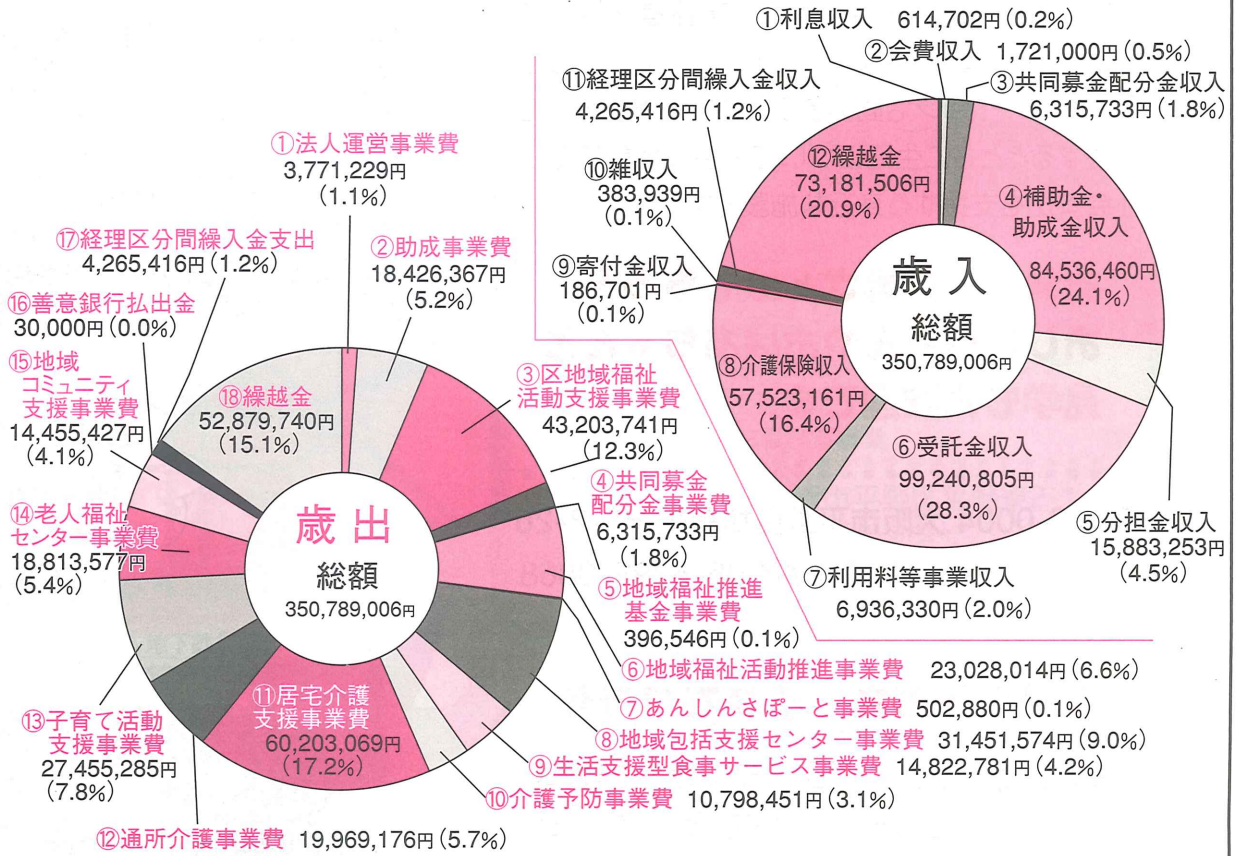
○金婚夫婦（昭和37年9月16日～昭和38年9月15日までに結婚された夫婦）・・・表彰状・記念品贈呈

○95歳以上の方（9月15日現在）・・・祝品贈呈

【問い合わせ】平野区社会福祉協議会 電話 6795-2525



平成24年度一般会計収支報告



あゆとおかえり歩翔ちゃん（心臓移植手術に成功）

生後まもなく拡張型心筋症を患い、米国での心臓移植を受けるため、平野区社協だより第49号（平成24年10月発行）でも、区民の皆様にご協力をお願いして、昨年12月に米国の病院で手術を受けることができました。術後の経過もよく、今年の4月に帰国、5月に退院し、生まれて初めて

自宅を過ごすことができます。記者会見後に平野区役所を訪れた両親の宏謙さん、佳美さんは「一緒に近所の公園に行ったり、お散歩したり、家族で夢見たことがようやく実現できました。息子を大切に育んでいくことで恩返ししたい」と感謝の気持ちを述べられています。平野区においても、多様な協働により「二人はみんなのために、みんな一人のために」を実践することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

賛助会員を募集中!

平野区社会福祉協議会は、誰もが「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を大きな目的として、福祉事業を推進しています。活動にご賛同いただき、賛助会員としてご協力をお願いいたします!!

年会費	
個人会員	1口 1,000円
法人・団体会員	1口 10,000円

※ただし、口数に制限はありません。

直接窓口へお越しいただくか、郵便局の下記口座へお振込みください
【加入者名】社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会
【口座番号】00970-8-139180

りに笑った、歌った」「おもいっきり笑った」等のご意見を頂きました。皆様のご要望にお応えし、今年度も大平哲也先生をお招きして、11月12日（火）に平野区民ホールで開催するこゝろが決定しました。笑うことは、心身のリフレッシュとなり、介護者が優しくなれます。一日一笑、笑う門に福来り、一日一笑で健康になろう。

平成25年2月から6月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。

慈善バザー

ご家庭でご不要な品物（新品）の提供をお願いします。但し、飲食物はご遠慮下さい。収益金（全額）で、平野区社会福祉協議会（ここにセンター）に車椅子を贈呈します。

8月25日（日）午前11時より
新聞屋さん博物館前にて
車椅子寄贈実績28台
（中央本通り）全興寺隣 平野本町4-12-3

（株）小林新聞舗 流町1-4-1（地下鉄平野駅前）TEL6799-0363（松沼）

- ◆善意銀行への預託◆
- 《金銭預託》
渡邊美穂子、（株）小林新聞舗、区社協手芸クラブ、区社協ボランティアビューロー、匿名（2件）
- 《物品預託》
（株）小林新聞舗—車いす3台、ソフト・巴厘チャリティ実行委員会—車いす3台、ケアライフメディカルサプライ（株）—車いす1台（順不同、敬称略）
- ※善意銀行への預託は、税法上（所得税・市民税）の寄付金控除の対象になります。